

2015年2月27日

HOBIA NEWS No.314

目次

- 関西バイオビジネスマッチング 2015 参加報告
- 地域バイオ育成推進講座 in 北見の開催報告
- お知らせ

● 関西バイオビジネスマッチング 2015 参加報告

去る2015年1月27日(火)、大阪の千里阪急ホテルにて近畿バイオインダストリー振興協会主催の「関西バイオビジネスマッチング 2015」が開催されました。HOBIAとしても近畿バイオとの交流事業の一環として、毎年HOBIA会員数社の出展支援をしていますが、弊社も2011年から毎回参加しており、今年もHOBIA枠で参加させていただきました。北海道からは弊社のほかに、株式会社アグリスクラム北海道、草野作工株式会社、コスモ・バイオ株式会社プライマリーセル事業部、ナチュラルケア株式会社、株式会社ホクドーが参加したほか、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター



(ノーステック財団)がブース出展し、北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)認定製品などを紹介していました。オープニングセレモニーに続く基調講演では大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授で規制改革会議のメンバーである森下竜一先生より「アベノミクスによる健康医療産業活性化」と題しての講演が行われ、春から始まることが予定されている機能性表示食品制度の施行に至る背景と制度の概要を解説いただきました。



昨年末にも消費者庁から届出のガイドラインが出ると噂されながら、結局マッチング当日の時点でもガイドラインは公表されておらず、各方面から漏れ伝わってくる内容と大きな違いはありませんでしたが、規制緩和により食品の機能性に関して体の部位を表現した「構造機能表示」が強要されるようになるなど関係業界にとっては期待の高まる内容の講演でした。(注：本稿執筆時点でも、件のガイドラインは公表されておらず、「(6月27日の)制度施行までには公表する」との消費者庁担当官の発言もあったことから、年度内の公表も危ぶまれています。)

本マッチングイベントに参加しはじめた当初は、バイオ関連と言っても弊社のような機能性食品分野でのマッチングの機会はあまりなく、素材メーカー同士のマッチングになってしまったり、不調に終わっていましたが、最近、事務局側で事前に商談相手を設定し、相手企業と情報交換できるのでスムーズに商談ができるようになってきました。また、ある程度参加企業も固定されていることもあり、継続して参加することで、商談を設定しなくても展示ブースなどで進捗を確認できるなど有意義なイベントになってきたように感じています。設定商談以外の場面でも成果につながるケースもあり、2013年には、展示会場内で近畿バイオのスタッフがベトナム総領事館の方を紹介して下さり、弊社製品に興味を持って頂きました。その方から後日ベトナムの製薬会社を紹介いただき、フォローアップを続けた結果、ベトナムでの弊社素材の輸入登録と、配合製品の販売にこぎつけたこともありました。

今年は機能性表示食品制度に対する関心が高く、ほとんどの商談で機能性表示の話題になりました。展示ブースでも機能性表示食品制度対応素材を求める声が多く、弊社素材にも関心をお寄せいただきました。本ビジネスマッチングは、バイオ関連に特化していることもあり、関心が共通する企業が集

まっていることと、事前のマッチング設定によって効率的な商談ができることは大きな利点だと思えます。また「健康食品・化粧品ビジネスマッチング in 札幌」と相互に参加社が出入りするなど、連携の成果も出ているように思われました。札幌、関西どちらのマッチングイベントも参加企業が固定化している傾向も感じられ、新鮮なマッチングができるように新規参加社の募集が望まれます。また、講演会を同時開催している関係で、その間の展示会場への来場者がどうしても少なくなってしまうことや、人員としては商談担当者を数人配置しても商談スペースの関係でマッチング件数に制限ができることなど解決すべき課題もあるようです。本マッチングの今後のますますの発展と、北海道のバイオ産業と関西のバイオ産業のさらなる連携を期待します。

(株)アミノアップ化学 学術部 部長 三浦 健人

過日1月27日に大阪で開催された同マッチング会は、延べ参加者355名で過去最高の人数となり、成功裏に終了しました。展示及びプレゼンテーションへの道内企業の参加数は7社にのぼり、近畿バイオからの当会の協力に対する感謝の言葉も有りました。

商談会では各社とも精力的に面接を進めていたようでしたが、参加企業の数とブースの数から考えて、相手企業としては6社くらいとの面談が限界となります。

プレゼンテーション会場も椅子席のみなのに関わらず満席だったことから、会場が少し手狭になったと思われる。また、スムーズな運営でほぼ時間通りに進行していましたが、やはり慣れない企業には1社2分15秒という時間配分は厳しいものがあるように感じました。学会報告のようなイメージの報告では直ぐに時間が来てしまうことから、プレゼン方法の助言など更なる工夫が必要ではないかと思えます。

展示会場もこれ以上の企業を受け入れることはほぼ不可能と思われる程手狭なため、全体を通して何らかの対策が必要と思われる。

なお、来年の同マッチング会の運営から近畿経産局が降りるとの情報があり、運営方法等に変更が予想されますが、HOBIAの事業に関しては継続としていきたいと考えています。

企画運営委員会 副委員長 富永 一哉

● 地域バイオ育成推進講座 in 北見の開催報告

先日、同講座の地方開催分について、2月26日(木)に北見市にある北海道立オホーツク圏食品加工技術センターの講堂で、「異物混入防止技術の最前線」というテーマで開催いたしました。

講演者は団体会員である日本食品分析センター千歳研究所の村上氏と、大阪に本社のある実験・研究用資材の商社であるのアズワン株式会社の食品工場向けの資材事業部であるサニーフーズグループの味波氏に講演していただきました。

この場を借りて、加工技術センターと上部組織であるオホーツク地域振興機構の皆様に、改めてご協力をいただいたことに関してのお礼を申し上げたいと思えます。

年度末も近い時期での開催に関わらず、参加者は事前申し込みの段階で60名に達しており、実際には56名の参加者を得て盛会で終了しました。最近の食品に関する報道等もあり、この分野への関心が非常に高いことを感じさせる結果となりました。講演後に講師との名刺交換を求める人も多く、またアズワンからは製品展示と試供品の提供もあり、多くの方により良く講演内容をご理解いただけたものと思えます。今後も、同様の会を開催する必要性を強く感じたいです。

企画運営委員会 副委員長 富永 一哉

● お知らせ

■地域バイオ育成推進講座 in 札幌開催のご案内

日 時：平成27年3月9日（月）17:45～

会 場：R&B パーク札幌大通サテライトHINT（札幌市中央区大通西5丁目 昭和ビル1階）

講 師：株式会社ジェネティックラボ 営業部課長代理 山本 智宏 氏

「研究者向け遺伝子変異解析から個人向け遺伝子検査へ- 現状と留意点」

【講演要旨】

2014年、大手ヘルスケア関連企業やIT企業が競って「遺伝子検査ビジネス」を開始した。遺伝子検査は、生活習慣病予防など、健康維持を意識付けさせることが期待されている。と同時に、その質や科学的根拠など留意すべき点もある。遺伝子検査の今後の展開も含めざっくばらんに紹介したい。

■地域イノベーション戦略推進事業成果報告会のご案内

さっぽろヘルスイノベーション ‘Smart-H’ 平成26年度成果報告会

本事業では、“技術シーズの開発から事業化まで一貫した産学官の研究開発支援基盤”の構築を進める北大リサーチ&ビジネスパークを核に、「食」の機能性分析・評価拠点の機能強化、食素材の高付加価値化をはじめとした「食」・「健康」・「医療」領域の融合・発展的な研究の推進、「食」のスペシャリスト育成、知のネットワーク構築、食素材の機能性分析評価機器・設備の開放など、『ヘルスイノベーション』の展開に向けた高度・先進的な取組みを行なっております。

当日は、本事業ならびに研究開発プロジェクトの成果等についてご説明させて頂くとともに、基調講演として、一般社団法人希少糖普及協会代表理事会長/香川大学元学長 近藤 浩二氏、特別講演として、アドバイザースタッフ研究会代表世話人/（独）国立健康・栄養研究所協力研究員 千葉 一敏氏をお招きしご講演を頂きます。ぜひご参加ください。

◆日時：平成27年3月6日（金）13:00～17:50（開場：12:30）

◆場所：京王プラザホテル札幌 B1 プラザホール

（札幌市中央区北5条西7丁目2-1）

◆詳細：<http://www.healthinnovation-hokkaido.jp/cms/upimg/file/150225-4.pdf>

◆申込：HP

<http://www.healthinnovation-hokkaido.jp/news/detail.php?action=news&id=57>

または、上記詳細ご案内pdfのお申込用紙によりお申込みください。

◆お問い合わせ：公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

地域イノベーション戦略推進室 進藤、浜田

TEL: 011-757-2288 E-mail: innovation@noastec.jp

HOBIAのホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会
札幌市北区北21条西12丁目コラボ北海道内
Tel&Fax (011) 706-1331
e-mail: mail@hobia.jp